応援します、生涯学習 ― ふえる知識と仲間の輪　　令和２年１月１日発行

あい風通信　43号

（学びのスタンプ通算 50 号）

新 年 の ご あ い さ つ

いしかり市民カレッジ運営委員長　林　　一　元

新年あけましておめでとうございます。新年を迎えた北の大地は未だ冬本番です。

しかし、これからは日暮れが遅くなり春の到来を身近に感ずる季節にもなります。童謡「春よ来い」に唄われる春は、子供に限らず特に北国に住む人たちの春を待つ心を表した歌だと思います。童謡、唱歌は生活に密着した内容が表現されているからこそ、今日まで受け継がれてきたものです。

本年いしかり市民カレッジは発足 12 年目に入りますが、「市民と共に」をモットーに、市民に寄り添い生活に密着した学習機会の提供に努め、これからも市民の皆様に「親しまれ愛されるカレッジ」として努力してまいります。変わらぬご支援よろしくお願いいたします。皆様がご健康でより良き年になりますようお祈り申し上げます。

楽しく学ぶ　講座紹介　　今年度は２講座を残すのみ

講座 14「続々・サイエンス教室～身近な電子機器と数のはなし～」

講　師　元北海道大学教授　三島　瑛人　　場　所　花川北コミュニティセンター

第１回「身近な電子機器のはなし」　２月　５日(水)　10:30～12:00

第２回「おもしろ数学のはなし」　２月 19 日(水)　10:30～12:00

第１回の「身近な電子機器」ではＣＤ、ＬＥＤ、半導体レーザー、電子レンジ、液晶などを取り上げ、「テレビに使われている液晶ディスプレイの動作原理は？」、「電子レンジでは真空管が使われていることを知っていますか？」などについて分かりやすく解説されます。第２回の「おもしろ数学」では、偏差値の仕組みとその意味や５段階評価との比較、10 進法と２進法、計算尺の不思議などを取り上げ、「負の数と負の数との掛け算はどうして正の数になるの？」、「10 進法は普通に使います。では 60 進法は？さらに２進法は？　２進法での足し算・引き算は？」などについて解説していただきます。

まちの先生企画講座４「北海道の歴代長官」

講　師　武石　詔吾　　場　所　花川北コミュニティセンター

第１回　開拓使・三県の設置と長官、県令の足跡・業績　　１月 16 日（木）10:30～12:00

第２回　北海道庁の設置と長官の足跡・業績　　１月 23 日（木）10:30～12:00

第３回　戦後の知事と歴代長官等を点描　　１月 30 日（木）10:30～12:00

北海道 150 年の地方行政の中心的役割を果たした歴代の長官、県令、知事などの足跡、業績を通して北海道の歴史を辿ります。

※会場は広報いしかりでは市公民館となっていますが変更になりました。
ご注意下さい。

新年交流会　いしかり市民カレッジ恒例の立食パーティー

１月28日(火)
18:00～20:00
市民プール
2階ホール

これまでカレッジ生・講師・連携団体など幅広い参加をいただいております。交流を通して深まる絆、寄せられる意見やアイデアが、明日への活力となります。
～あなたも参加してみませんか、お待ちしています～

参加費　２，０００円　（当日会場で）

申込・問合せ　　カレッジ事務局（公民館）へ
電話　0133 - 74 - 2249

市民カレッジデータ

（12 月 20 日現在）
○登 録 者～210 人
○連携団体～107 団体

ロゴ製作者
丸山英里子さん

令和２年度の講座開設　概要決定！

◇「主催講座」　１４講座実施　受講者提案　３講座を予定！

いしかり市民カレッジでは、令和２年度の講座企画に向けて検討を進めています。

市民カレッジの運営委員から 14 件、講座ごとに実施している『希望講座アンケートのお願い』と『あい風通信』に同封した『講座アイデア』から延べ 41 件の講座企画（案）が寄せられました。これらについて、提案していただいた皆さんの意向を出来るだけくみ取ることができるよう、４回にわたる検討会議を行いました。

その結果、次年度の主催講座は 14 講座 24 コマを開講する方向で決まりました。この内、受講者提案講座として、『日本遺産と炭・鉄・港めぐり』、『大人の社会見学』、『考えよう石狩市のエネルギー』の３講座５コマを実施する予定です。

今後、講座名・講師・期日等内容を正式決定し準備が整い次第『あい風通信』やホームページ等を通してお知らせいたします。次年度も多くの皆さんが受講されることを期待しております。

◇「まちの先生企画講座」　４講座決定　ご期待下さい！

11 月 18 日(月)、令和２年度「まちの先生企画講座」応募講師説明会を石狩市公民館で行いました。スタッフが「まちの先生企画講座」の趣旨を説明した後、講師から講座の企画意図について詳しいお話を聞きました。スタッフも様々な質問をし、各講座について充実した討議を行う事が出来ました。説明会の後、スタッフで検討し、幹事会を通して以下の４つを令和２年度開催講座としました。

- 「初心者向けスポーツウェルネス吹矢」5～6 回　講師 南波 修平
- 「おうちで簡単！ジェルネイル講座」　3 回　講師 新矢 杏奈
- 「『知って始める』終活連続講座」　3 回　講師 松尾 拓也
- 「講座 手作りジャム」　2 回　講師 萬年 静代

※決定した４講座ですが、正式な講座タイトル、各回タイトル、開催日、時間などの詳細は、今後検討して２月初旬には最終決定の予定です。

◇ボランティアスタッフ募集説明会を開催　～２名加入～

10 月 24 日(木) いしかり市民カレッジ・スタッフ募集説明会を花川北コミュニティセンターで行いました。昼の部 13：30～、夜の部 18：30～の２回行い、昼の部は３名、夜の部は参加者なしでした。

説明会はパワーポイントによる説明を行いましたが皆様熱心に聞かれ、続いての質問も活発でかなりの手応えがありました。

まずは総務・広報Ｇと企画・事業Ｇの会議に出席してからの判断となりましたが、後日お二方から嬉しい連絡があり、スタッフとして加入さました。ご活躍を期待しております。

令和２年度　新規カレッジ生募集

～今だけの特典があります～

① 令和２年度会費 1,000 円納入で元年度残り講座を１回 400 円（一般 500 円）で受講できます。
　残り講座数：まちの先生講座４（１月-３コマ）
　　主催講座 14　（２月-２コマ）
② 学びの記録手帳交付、スタンプ押印
③ カレッジ情報提供（あい風通信３月末お届け）

加入・更新手続き

- 石狩市公民館（石狩市民カレッジ事務局）平日９：00～17：00
- 講座受講時に受付でも行います
- 公民館まつり会場（3 月７日・８日）でも行っております

次年度更新手続きは４月末まで !!

いしかり市民カレッジは、カレッジ生が収める年会費と受講料によって運営されております。令和２年度も充実した内容の講座を企画して、市民の皆さんのご期待に応えるべく準備中です。

引き続きカレッジ生となって支えていただき、沢山講座を受講してご意見をお寄せくださいますようお願い致します。

受　講　者　の　声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいた感想・ご意見を要約して紹介しています

講座９　「地震予測と石狩市の防災の現状」

第１回「北海道のどこでも起こる、予知はムリ、事前の対策をしっかりする大切さを詳しく説明して頂き、大変感謝いたします」第２回「将来必ず発生されると断言された地震。地震ばかりでなく各種の災害に備えるように意識し行動（対策）準備しなくてはと肝に銘じました」「明解な説明、勉強になりました。地震保険を検討しなければ！」第３回「石狩市の防災の現状と言うことで地区防災マップをもう一度家族と見て話し合おうと思いました。備蓄も忘れている事があるのでもう一度考えようと思いました」

講座 10　「石狩における明治・大正の輸送」

第１回「歴史的建造物が貴重な資産として捉え、社会教育資料や産業技術史教育の資料とし、さらに観光資源として町おこしの独自性をアピールし大切に守っていく事の必要性を知りました」第２回「大変興味深いお話しを聞けました。身近な石狩川から始まり、幻となった石狩鉄道の話し理解できました。運河についても各国の様子、大友、岡崎、廣井・・・と歴史を作ってきた人達の事も楽しみながら聞けました」

講座 11　「北海道の美術を学ぶ旅」

「お天気にも恵まれ岩内資料館及び木田金次郎美術館等を廻り、各所で担当の方からご説明をいただき気持の良い美術関係のバスでの観光、美の学びの講座内容豊かな学びの恵みある行事であり運営委員の皆様方スタッフを担当された方々へお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。今後共宜しくお願い致します」「木田金次郎と有島武郎とのつながりが大変興味をひきつけました。是非『生まれ出づる悩み』を再度読むことに致しました。それぞれの町を知ることによって石狩への想い、郷土愛が一層強くなったと思います。この度企画有難う御座いました。お礼を申し上げます」

講座 12　「新渡戸稲造の世界」

「新渡戸稲造はお札で知るくらいでしたが、教育、夜学校、武士道など稲造の精神は素晴らしいと感じました。武士道精神とキリスト教精神の関りに興味がわき次回が楽しみです」「北海道に貢献し五千円札にもなった新渡戸先生のことを知らなかったのは北海道に住む者として恥ずかしいことですね」「自分は武士道の心が欠けているなとつくづく感じました。これからは自分なりに実行（行動）することにします。残り少ない人生、素晴らしい生き方の指針となりました。ありがとうございます」「この講座を通じて新渡戸稲造の偉大さを知ることができました。日本人を客観的に考察した新渡戸の考えは今でも大事にすべきと考えています」

講座 13　「食と健康の関りを考える」

「食事のとり方や生活面で参考になる講座でした。豊富な情報や研究で積み重ねた専門的な話が次から次へと出していただき良かった。考えさせられるお話しで、本当に良かった。最後の老化予防、食生活指針 14 か条にすべて集約されており、これから心がけて生活していこうと思います」

まちの先生企画講座３　「おいしい珈琲教室」

「美味しいコーヒーを楽しめると思って参加しました。奥深いコーヒーの淹れ方等とても勉強になりました」「コーヒーはとても難しいと思いました。同じ条件でも淹れる人によりまた変わりますね。少しずつ上手になれたらと思いました」「コーヒーを淹れる行為そのものが心を落着かせてくれます。だけれど味は今ひとつ。講座を受けて、お湯の注ぎ方が早すぎるのだと気がつきました。頭で考えるだけではダメ。家に帰ってもう一度淹れてみます。まだまだ違いの分からない主婦です」「三種の焙煎を味わって、一人前のコーヒー通になった気分です。色々な小道具もそろえて時々我が家で楽しんでいます。趣味が一つ増えて豊かな気分です。忘れないように～」

第 21 回修了証授与式
３月中旬に予定
申請をお忘れなく

「学びの記録」手帳でスタンプ数を確認して規定数に達していましたら巻末の「修了証申請書」に必要事項を記入して、講座受講時に受付で提出されるか、事務局（公民館）にご持参ください。

ひろば
ISHIKARI CITIZEN'S COLLEGE

チョコっと いしかり学 ≪11≫

厚田の緞帳に織り込まれた北前船の絵馬は今

石狩市郷土研究会事務局長　石　黒　隆　一

厚田総合センターのステージに北前船を織り込んだ立派な緞帳が設置されています。

厚田の大漁業家・佐藤松太郎が加賀橋立の寺谷家と共同経営した長栄丸の絵馬が厚田村史に紹介されていますが、帆に三本の縦線の船印があることなどから、その絵馬が緞帳のモデルであることがわかります。

絵馬の解説に、加賀市出水神社蔵と書かれていたことをヒントに、5月に寄港地巡りをした際にこの絵馬を探し、同市の北前船の里資料館に移されていることがわかりました。その後、9月に石川県九谷焼美術館の方が、北前船で運ばれた九谷焼を調査するために石狩にお越しになった際に、長栄丸の絵馬が鮮明なカラーで掲載された「加賀市の船絵馬」という図録を持ってきてくださったのです。9月に発刊した拙著「宝船」で、大きく紹介することができました。加賀市と石狩市が、共に日本遺産北前船船主集落に認定されたことで、かつての結び付きが復活した出来事でした。

厚田総合センター緞帳

←長栄丸の絵馬

石狩の風物　　石狩の鳥　カモメ

カモメは石狩市の鳥に指定されています。以前は旧石狩市、厚田村共に鳥の指定はなく、浜益村だけがゴメ(カモメ類)を村の鳥としていました。平成17年の市村合併の折、70㎞に及ぶ長い海岸線を象徴するものとして、自由に飛び廻るカモメが市の鳥に指定されました。カモメと云っても単一の種(カモメと云う種もいる)ではなく、カモメ類の総称です。石狩浜で一番多く見られるカモメは、オオセグロカモメ。大型で背中が黒くピンク色の足が特徴で季節を問わずいつでも見ることが出来ます。それに次ぐのがウミネコ。やや小型で色が薄く足は黄色、「ミャーオ」という猫に似た声で鳴くのが名前の由来です。

またシロカモメやセグロカモメ、カモメ(種名)など、晩秋に北方からやって来て春まで留まるカモメもいます。冬は、石狩浜で一番多くの種のカモメが見られる季節です。

お天気の日に、しっかり厚着をして石狩浜へ出かけてみませんか。きっと数種のカモメと出会えるはずです。

(写真　オオセグロカモメ)　　(文・石井滋朗)

編集後記

スタッフ5年目にして初めて「あい風通信」の編集に携わりました。編集会議、原稿依頼、原稿チェック、折込作業、発送作業など多くの過程を経て初めて、1冊のあい風通信を皆様にお届けできることが分かりました。

また、カレッジでの今年一番の感動は、私が主担当を勤めた「まちの先生企画講座」が受講生有志による「サークル」に発展したことでした。

これからも、学び続ける諸先輩方に追いつけ、追い越せを目指して頑張ります。

(太齋)

■ 発　行
いしかり市民カレッジ運営委員会
編集担当：鈴木、石井、太齋、徳田、三上、光川

■ お問合せ　　石狩市公民館
石狩市花川北6条1丁目42 TEL&FAX：0133-74-2249
ホームページ いしかり市民カレッジ 検索